

2014年9月1日

特定非営利活動法人WAC Japan (申請中) ・ WAC-8京都大会実行委員会

世界考古学会議第8回大会 シンボルマーク・ロゴデザイン公募要項

2016年8月28日～9月2日に開催される世界考古学会議 (World Archaeological Congress) 第8回大会 (WAC-8京都) に向けて、当委員会では色々な準備を進めています。その中で、ポスター・チラシ・webページにより国内外への広報をおこなうために、シンボルマーク・ロゴを使っていきたいと考えています。そのために、世界考古学会議に関心のある方々から広くそのデザインを募集して、よい作品を大会シンボルマーク・ロゴにしたいと考えました。

別紙の大会計画をご覧いただいたうえで、本大会のご関心をもつみなさまからのご応募をいただき、WAC-8京都の準備や広報に役立てることで、多くの方々による協業として大会を成功させたいのです。また、最優秀作品の以外の優秀作品にも表彰を行います。どうかご協力をいただき、ふるってご応募いただければ幸いです。

1 応募の内容

(1) 内容

WAC-8シンボルマークとロゴのデザイン

(2) 採用後の委託内容

シンボルマーク及びロゴデザインをチラシ・ポスター・webページ・グッズなどへ掲載します。それぞれの利用に応じてデザインの配置や細部調整作業を委託します。

(3) 委託作業の期間

採用後から2016年10月31日 (金) まで

(4) 報償等

税別で30000円

(5) 契約主体

特定非営利活動法人WAC Japan (認可申請中)

2 応募資格

世界考古学会議に関心のある方

3 デザイン等について

(1) 審査は、シンボルマークとロゴデザインのそれぞれについて行います。

(2) シンボルマーク・ロゴデザインの作成にあたっては、以下の点に考慮してください。添付資料の過去のWAC大会・中間会議の例も参考にしてください。英語表記が基本です。

○シンボルマーク

- ・京都での大会の意義を象徴するものにする
- ・国際的に通用するもの

○ロゴ

- ・「WAC-8」「Kyoto」を使ってデザインすること

(3) シンボルマーク及びロゴデザインをそれぞれ1種類、カラー・モノクロで提出してください。また、シンボルマークとロゴを組み合わせたパターンを2種類、カラー・モノクロで提出してください。合計して8種類をご応募ください。

※注意事項

採用作品のデザイン及び色彩は、使用時に一部を修正、変更する場合があります。

4 応募方法

募集期間内に、作品に必要な書類を添えてご提出ください。

(1) 提出期間

2014年9月8日（月）～10月15日（木）

(2) 提出方法

郵送してください。10月15日（木）必着とします。

(3) 提出先

世界考古学会議第8回大会実行委員会事務局

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3 同志社大学歴史資料館 若林邦彦 気付

電話番号 0774-65-7255 e-mail: wac8kyoto@gmail.com

(4) 提出物

ア 応募作品

シンボルマーク及びロゴデザインの見本を、カラーとモノクロで印刷し、ご提出ください。デザイン原画だけでの応募は無効とします。

イ 参加申込書

別紙様式1「世界考古学会議第8回大会シンボルマーク・ロゴデザイン コンペ参加申込書」に必要事項を漏れなく記入し、提出してください。

(5) 応募に必要な経費等

郵送料など、応募に必要な経費は応募者による負担をおねがいします。

5 審査及び発表

(1) 応募書類をもとに、特定非営利活動法人WAC Japan理事会で内容を審査し、最優秀作品を1点決定いたします。他に優秀な作品がある場合も表彰いたします。

(2) 最優秀作品の応募者には、10月末に結果を連絡いたします。WAC Japanウェブサイトでも発表します。

(3) 最優秀作品や他の優秀な作品は、WAC-8京都の準備にかかわるイベントで表彰式を行います。WAC-8京都実行委員会の都出比呂志委員長あるいは他の委員から表彰状と賞金を進呈し、ウェブサイト上でその様子を公開する予定です。

6 注意事項

- (1) 応募作品は未発表かつ自作のものに限ります。
- (2) 最優秀作品の著作権（著作権法（昭和45年5月6日 法律第48号）第21条から第28条までに規定する権利）は、特定非営利活動法人WAC Japanに帰属するものとします。ただし、制作者が、デザイン年鑑・作品集・ウェブサイト等で自身の作品として紹介・掲載することを制限するものではありません。
- (3) 最優秀作品が、第三者の知的財産権を侵す場合、その他本要項の規定に違反していることが判明した場合は、決定後であっても、決定を取り消します。また、類似と認められる場合も取り消す場合があります。なお、これに伴い発生した紛争、損害等については、全て応募者が責任を負うものとし、主催者は一切の責任を負いません。
- (4) 最優秀作品のデザインを、本部会議が補作・修正の指示をし、完成版とすることがありますので、予めご了承ください。
- (5) 最優秀作品応募者が辞退、その他の理由で掲載・作業の委託に至らなかった場合は、他の応募作品のうちで、審査での評価の高かった作品応募者から順に契約交渉の相手方とすることがあります。

様式1

受付番号

平成 年 月 日

特定非営利活動法人 WACJapan
理事長 都出 比呂志 様

世界考古学会議第8回大会シンボルマーク・ロゴデザイン コンペ参加申込書

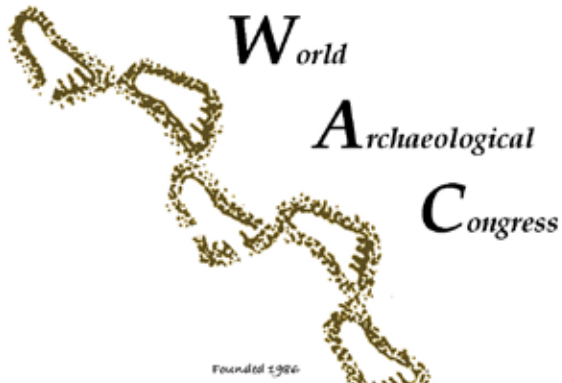
(申込者)
所在地
商号又は名称
氏名又は代表者名 印

世界考古学会議第8回大会用ロゴデザイン等デザイン作成委託業務コンペに参加したいので、関係書類を添えて申し込みます。

なお、関係書類の全ての記載事項は事実と相違ないこと、「世界考古学会議第8回大会シンボルマーク・ロゴデザインコンペ募集要項」に記載された応募資格を具備していること及び募集要項に記載された事項を遵守することを誓約します。

ふりがな	
氏名	(法人の場合は法人名、個人事業者の場合は個人名)
所在地	
連絡先	電 話： ファクシミリ： 電子メール： 担当者氏名：
製作意図 (作品の説明を 含む)	

マークとロゴ



WAC ロゴ マークとロゴ

マークとロゴ



WAC-4 letterhead

マークとロゴ



WAC-6 leaflet



WAC-7



WAC OSAKA

過去のWAC大会・中間会議ロゴの例

世界考古学会議(World Archaeological Congress)第8回京都大会について

1. 開催の趣旨

- ①世界考古学会議第8回京都大会(WAC-8 京都)は、様々な考古学研究の発表の場である。ここでは、発掘資料から過去を復元するためのあらゆる方法(分析科学諸分野)をふくむ研究成果が報告され、議論される。
- ②考古遺跡・遺物は埋蔵文化財・文化遺産であり、研究資料としてだけでなく、遺跡公園の整備・博物館での展示・発掘調査の一般公開などをとおして、一般市民にとっての歴史・文化の共有化の媒体としての効果を持つ。社会にとって「必要」で、そのありかたは社会から「影響」も受ける。そういった、考古資料の管理・共有とそのありかたへの批判的視点は、国内外の社会にとって重要であり、単に過去の事実をあきらかにする以上の意味を持っている。
- ③WAC-8 京都は、世界中の考古学者が集まってこのような問題を話し合う、東アジアで初めての機会となる。日本の考古学関係者が協力して話し合いの場を作り、世界中の考古学者と問題を共有することが目的である。
- ④日本は、6000人を超える埋蔵文化財保護専門職員を有し、考古学・埋蔵文化財調査研究に積極的に取り組む国である。我が国の活動の成果を海外の考古学者とも共有し、彼我の成果の比較や共通した問題を話し合う機会をもつことが主要な目的の一つである。
- ④また、以下の点も京都をWAC-8開催地とした理由である。
 - 京都が歴史都市で多くの文化遺産・遺跡を含む都市であること
 - 京都が考古学専攻学生の多い「大学のまち」であること
 - 京都が考古遺跡と現在景観の問題に取り組んできた都市であること

・以上から、この大会は考古学・文化遺産を社会の中で国際的に論じ合う上で、重要なイベントである。

2. 世界考古学会議(WAC)とは

- ①過去に関する研究に関心をもつすべての人々のための世界フォーラム。
- ②すべての国で過去への関心が深まり、地域に根ざした歴史研究の発達と国際的な学术交流が促進されることを目指している。
- ③考古学が歴史的・社会的な役割をもち政治と無関係ではないと考え、考古学の研究が広く社会と結びつきをもたなければならないという点を基本においている。
- ④世界考古学会議は特に次のような点に関心をもっている。
 - ・過去に関する教育
 - ・考古学と先住民
 - ・考古学の研究における倫理
 - ・遺跡や遺物の保護
 - ・地域社会における考古学の役割
 - ・考古資料の所有権と保存・活用
 - ・考古学と考古学的なコミュニケーションにおける新しい技術の適用
- ⑤設立経緯
 - ・1986年に発足。

- ・南アフリカのアパルトヘイト問題を引き金として、国際先史学・原史学連合(UISPP)から分離する形で成立。
- ・世界約 130 カ国に会員をもつ現在世界最大規模の考古学会

⑥大会(総会)と中間会議

- ・大会(総会)を4年に一度
- ・第1回サザンプトン(英国)・第2回ハルキシメト(ベネズエラ)・第3回ニューデリー(インド)・第4回ケープタウン(南アフリカ)・第5回ワシントン(米国)・第6回ダブリン(アイルランド)・第7回に死海(ヨルダン)で開催された。
- ・現地の考古学研究者が実行委員会をつくり、WACの執行委員とともに大会運営を行う。
- ・前回ヨルダンでの大会時に、評議会において4つの候補都市からWAC-8 京都開催が選ばれた。
- ・中間会議は不定期。大会の間に4回程度世界各地で開催されている。2006年には大阪で中間会議開催。約400名の参加をみて大成功

⑦WACの組織

執行委員・・・14地域からの各2名の代表で構成されている。考古学研究者に加えて、執行委員には、先住民組織によって推薦される8人の代表が含まれる。執行委員会は、世界会議と中間会議の開催期間中および必要に応じて開催される。

現在の執行委員の中の日本人研究者

- ・会長には溝口孝司(九州大学教授)、書記は松田陽(University of East Anglia 講師)

評議会・・・評議会は世界考古学会議の方針を決定する会議。評議会は各国際会議の期間中に組織され、会議に出席しているそれぞれの国の代表と、全執行委員によって構成される。

3. WAC-8 京都・会議内容

①日時： 2016年8月28日～9月2日(登録日1日・研究発表4日・エクスカーションツアー1日)

②主要会場： 同志社大学今出川校地

③予想参加者： 1500～2000人(研究発表者700-800人前後)

④主要テーマ： 世界各国の考古学研究の国際比較・文化財保護や文化遺産と社会・先住民やマイノリティの文化保護・災害と考古学など(今後整備予定)

⑤資金援助(予定)： 京都文化交流コンベンションビューロー・ウエンナーグレン財団ほか

⑥主催： WAC-8 京都実行委員会・日本学術会議(共同主催)

⑦後援(予定)： 京都府教育委員会・京都市・小豆島町・日本考古学協会・考古学研究会・日本文化財科学会・日本西アジア考古学会。文化庁・京都府やその他考古学関係学会と協議中。

⑧付属企画：

○市民参加型シンポジウム

- ・予定 8月28日(日)～9月2日(金)のなかで数回
- ・会場 同志社大学今出川校地

○市内博物館での合同企画展

- ・京都市考古資料館、京都文化博物館が連携企画展を行うこと、考古学とアートのコラボレーションを行う展示会を市内諸ギャラリーで行うことについて、協議を始めている。

4. 日程表

8/28(日) (午前)WAC 評議委員会

(午後) 登録受付 開催式典(可能なら市民向けシンポジウムを併催)

(夜) ウェルカムパーティー

8/29(月) (午前)WAC 執行委員会

(午後) 研究分科会(約12会場)・ポスターセッション・基調講演(市民向け)

(夜)Evening Reception

8/30(火) (午前)研究分科会(約12会場)・ポスターセッション

(午後)研究分科会(約12会場)・ポスターセッション・WAC 評議会・基調講演(市民向け)

8/31(水) エクスカーションツアー(京都の世界遺産・奈良の文化遺産と遺跡群・京都北部の古墳群など)

9/1(木) (午前)研究分科会(約12会場)・ポスターセッション

(午後)研究分科会(約12会場)・ポスターセッション・WAC 評議会・基調講演(市民向け)

(夜) ガラ・ディナー

9/2 (金) (午前)研究分科会(約12会場)・ポスターセッション

(午後)研究分科会(約12会場)・ポスターセッション・WAC 総会

5. 組織委員会の構成

・WAC-8 京都実行委員会(NPO 法人[認可申請中]WAC Japan の内部委員会として組織化)

委員長:都出 比呂志 大阪大学名誉教授(WAC Japan 代表理事)

副委員長:和田晴吾 立命館大学特任教授(WAC Japan 専務理事)

副委員長:松藤和人 同志社大学教授(WAC Japan 専務理事)

事務局長:泉 拓良 京都大学特定教授(WAC Japan 専務理事)

実行委員中核(WAC Japan 理事・事務局):

一瀬和夫(京都橘大学)・魚津知克(大手前大学)・岡村勝行(大阪市博物館協会)・菱田哲郎(京都府立大学)・矢野健一(立命館大学)・吉井秀夫(京都大学)・若林邦彦(同志社大学)・津村宏臣(同志社大学)

・上記実行委員会は、2013年7月14日に結成された。

・その他、約70名の考古学者が、実行委員会に協力者として参加予定。すでに、開催準備の会合を重ねている。京都や近畿地方自治体の埋蔵文化財担当者も多数参加。

・京都で考古学専攻を持つすべての大学の教員・研究者が実行委員会および協力者に名を連ねている。

・日本考古学協会・考古学研究会などのわが国最大規模の考古学学会からの協力を得る予定。

・誘致にあたり、京都市・京都府など地元自治体からの後援が得られた。大会開催にあたっては、京都府教育委員会・京都市から後援の内諾を得ている。